



こじま たけひさ 小島武久県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

救急車の適正利用呼びかけ

思いやりのまちづくり ちば新時代

救急搬送件数初の減少へ

2月県議会予算委員会



県議会予算委員会で質疑を交わす小島たけひさ県議

「地域の力と連携」を掲げ、昨年三期末の当選を果たした市川市選出の小島武久(こじま たけひさ)県議は、二月定例県議会の予算委員会で、救急車の適正利用の重要性などを訴えたほか、都市部の景観問題を取り上げ、「けばけばしい看板が氾濫する中で、県はどう対応するのか」などいただきました。

また、教育問題にも力を入れ、文教常任委員会委員を務める小島県議は、県教育委員会が進める「教育の戦略的ビジョン」の中に位置づけられている「親子のまなびサイト」について、県教育長の方針をたしました。

議員活動二十六年目(市川市議四期、千葉県議三期)を迎える小島県議は、自民党千葉県連でも中堅議員として、ますます重責を担っています。昨年十二月県議会的一般質問に続いて、今予算委員会でも活躍した小島県議の質疑を1、2面で特集します。

トリアージは全体の〇・〇五%

小島委員 県内の救急搬送の件数が平成十八年度に初めて減少したと聞いている。各消防本部で何か取り組みをしたのか。

総務部長 救急搬送は、平成十七年度まで増加の一途でありましたが、平成十八年度に初めて前年より搬送件数では三千二百三十一件、搬送人員では四千二百七十八人減少したところです。

ご指摘のとおり、救急車は生命の危険が迫っている重篤な傷病者を一刻も早く医療機

車の適正利用のため「救急搬送トリアージ」を行ったと聞いているが、どのような結果だったのか。

総務部長 東京消防庁では、救急受信時等における緊急度・重症度の選別、いわゆるトリアージを平成十九年六月一日から六ヶ月間試行しました。その結果は、出動件数三十三万九千五百三十七件中トリアージを実施した件数は百六十二件で、全体の〇・〇五%となっています。

この百六十二件のうち、救急搬送を行わないことの同意が得られ、搬送しなかった件数が百件。「どうしても不安」念のため「等の理由から同意が得られず、病院に搬送した件数が六十二件でした。

トリアージとは一般的に人材・資源の制約の著しい災害医療において、最善の救命効果を得るため、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定する方法。フランス語の「triage(選別)」からきている。

小島武久県議 プロフィール

- | 略歴 | |
|------------|--------------------|
| 昭和15年 | 市川市八幡生まれ |
| 市川学園高等学校卒業 | |
| 昭和58年 | 市川市議会議員初当選 |
| | 以降連続4期16年務める |
| 平成11年 | 千葉県議会議員初当選 |
| 平成19年 | 同 三選 |
| 公職歴 | |
| | 市川市議会議長(第48代) |
| | 千葉県市議会議長会会長 |
| | 県議会総合企画水道常任委員会委員長 |
| | 同 健康福祉常任委員会委員長 |
| 団体活動 | |
| | 市川市野球協会会長 |
| | 同 少年野球連盟参与 |
| | 同 ハンドボール協会会長 |
| | 同 アーチェリー協会会長 |
| | 日本ボーイスカウト市川第2団育成会長 |
| | 千葉県日華親善協会副会長 |

県政や市川市についての要望、声をお寄せください。

小島武久 県議事務所

〒272-0021

市川市八幡3-4-1

TEL 047-323-0141

FAX 047-322-1003

HPもご覧下さい。…

検索

ちば自民党

議員リスト

県議会議員

市川市

「湾岸ゾーン」は自立性高い地域へ

第4次千葉県国土利用計画

小島委員 「第4次千葉県国土利用計画」の特色として、県内を六つのゾーンに分けているが、市川市の属する「湾岸ゾーン」の目指すべき方向性はどのようなものか。

総合企画部企画調査室長 湾岸ゾーンは県内有数の人口を有し、大型商業施設、大学、工場・物流施設の集積など、多様な都市機能を備えているとともに、三番瀬や内陸部の谷津田等、都市部にあつて貴重な自然環境・景観を有しています。

本地域について計画では、これらの地域資源等を活用することにより、自然と都市的・文化的な機能が調和した生活が続けることができ、職住接近に配慮した自立性の高い地域の形成を目指すことにしています。

小島委員 自然環境をどう残していくかという視点から、全県的に見ても、都市部

都市部の緑の主なものは、農用地と森林であり、東葛飾ゾーンのこれらの面積は、全体の面積に占める割合で三〇％です。湾岸ゾーンでは同二八％です。県全体の面積における農用地と森林の占める割合は五七％であり、県平均の約半分となっています。



予算委員会副委員長として円滑な議事進行を図る

事業者との協定制度活用

小島委員 景観条例により、特に都市部の景観にはどう対応していくのか。また、氾濫するけばけしい看板等に対して、どのように対応していくのか。

景観条例により、都市部の中心市街地や歴史的な街並み等は、その地域にふさわしい良好な景観の形成に取り組んでいく必要があり。看板等の屋外広告物については、屋外広告物法および千葉県屋外広

告物条例に基づき、規制指導を行つていくところですが、景観に与える影響が大きいことから、今回の景観条例に基づく事業者と知事との協定制度を活用して、景観への配慮を求めていくなど対応してまいります。

サイトで家庭教育力向上

小島委員 県教育委員会では、二〇〇八年アクションプランの戦略プロジェクトの一つである「千葉県教育の戦略的なビジョンの推進」の中に「親と子どものまな

なびサイト」事業を位置づけているが、どのような考えからか。

県教育長 戦略的ビジョンでは、家庭教育の向上を重要な教育課題の一つとして



予算委員会答弁を聞く小島県議

位置づけ、地域ぐるみで家庭教育への関心を高め、家庭教育力の向上のための支援にみんなで取り組むことにしています。

そこで、家庭教育の取り組みの一つとして「親と子どものまなびサイト」と位置づけたところです。保護者や地域の方々の参画のもと立ち上げるこのサイトには、家庭教育に関する具体的な課題を盛り込むこととしており、全国でも先進的な取り組みだと認識しています。

小島委員 「親と子どものまなびサイト」の具体的な内容と主な特色は何か。

教育庁生涯学習課長 このサイトは、乳幼児期・小学校期・中学校期の子どもを持つ保護者が、それぞれの発達段階に応じて、生活習慣やしつけ、家族で大切にしたいこと、コミュニケーションの取り方など家庭教育で直面するさまざまな場面や事柄について、クイズ形式の問題に答えながら学習したり、教育相談の専門家によるメール相談ができるものとなっています。

財源不足の当初予算を追及

2月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に岡村泰明
岡村議員は、財政問題、私学助成、医療の充実などを中心に質し、うち、乳幼児医療では、自民党が要望を続けてきた就学前までの通院助成は実現しましたが、なおの充実を求めました。

予算案については、「3年連続で多額の財源不足が続く当初予算は異常な事態」として知事を追及し、真の県民本位の予算のために、今後も厳しく監視を続けるとしました。

また、知事の方針姿勢では、空港戦略、道路特定財源をめぐる見解、知事のマニフェストについて質しました。

2月県議会予算委員会質疑
地域の力と連携し
小島たけひさ武久県議

